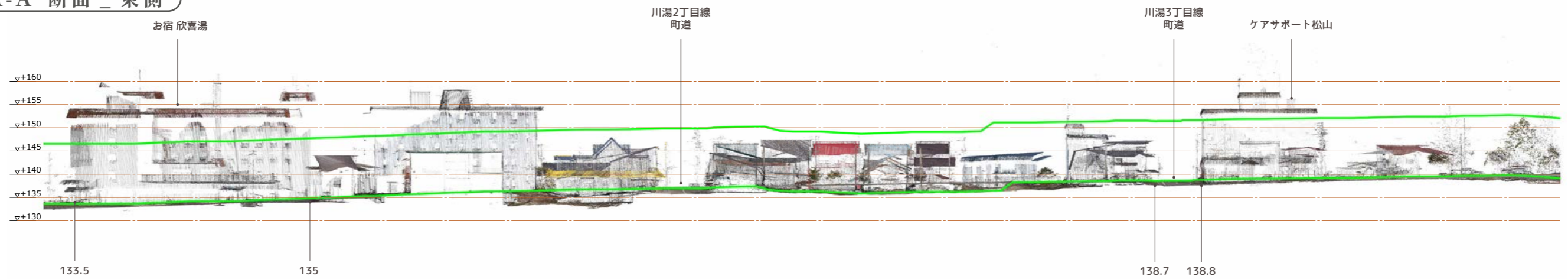
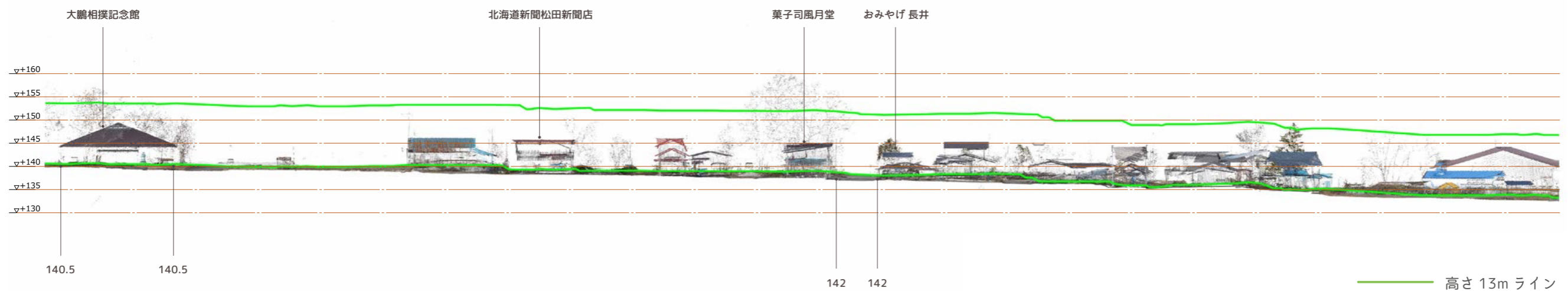




A-A' 断面 _ 東側

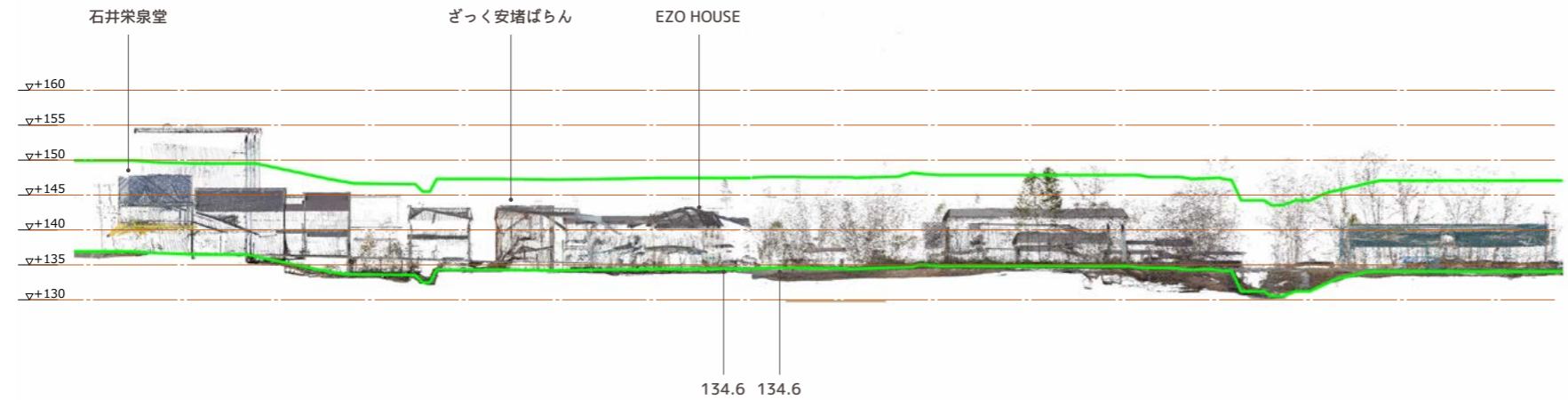


B-B' 断面 _ 西側

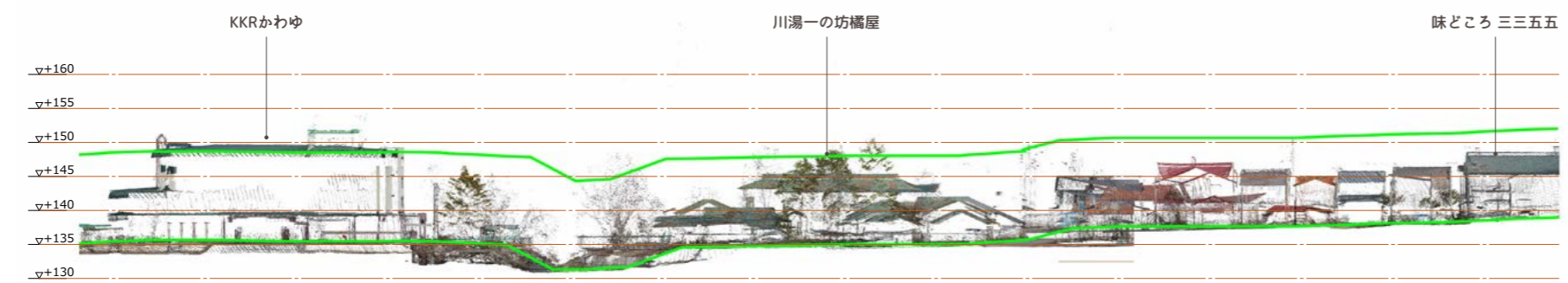




A-A' 断面 _ 北側



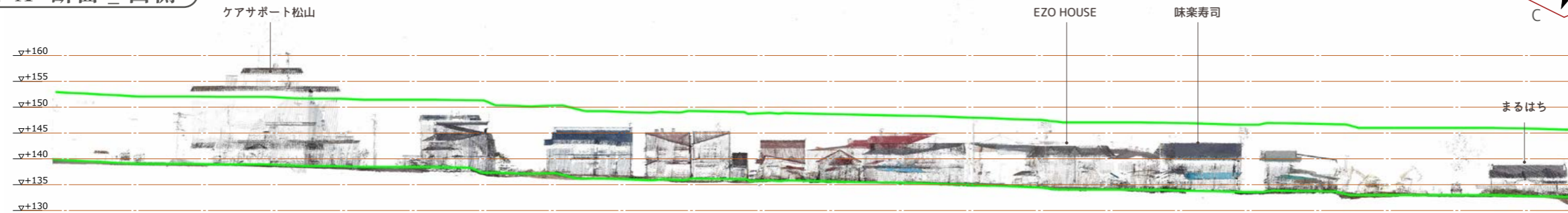
B-B' 断面 _ 南側



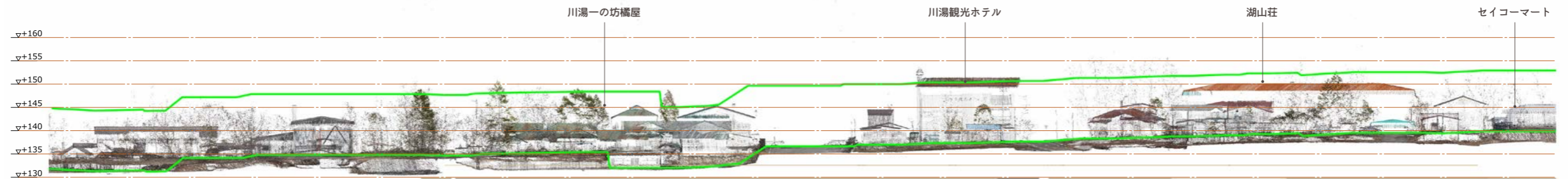
— 高さ 13m ライン



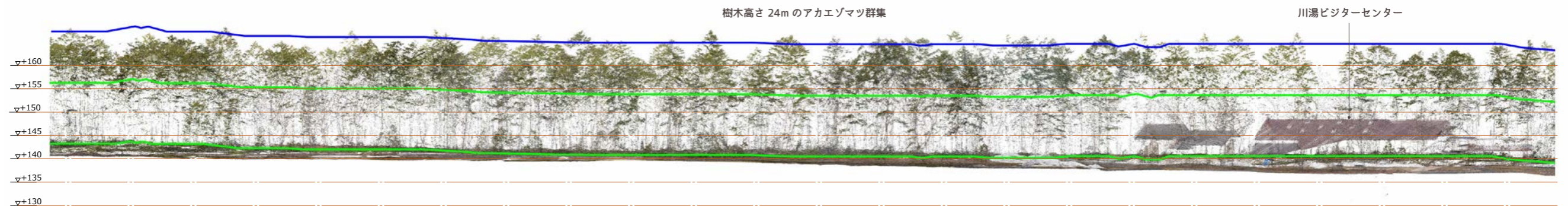
A-A' 断面 _ 西側



B-B' 断面 _ 東側



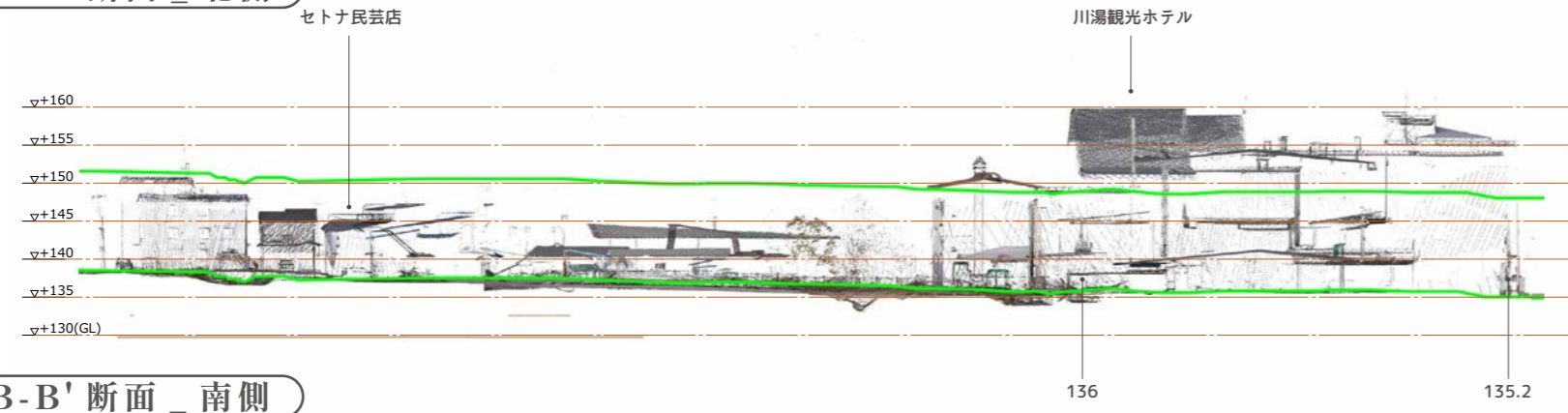
C-C' 断面 _ 西側



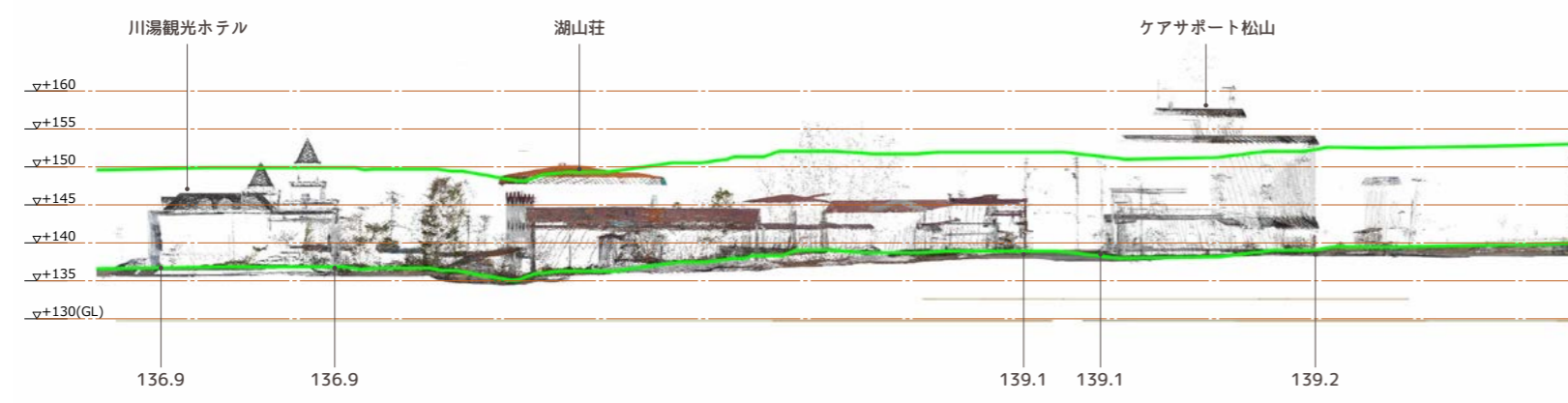
— 高さ 13m ライン
— 高さ 24m ライン



A-A' 断面 _ 北側



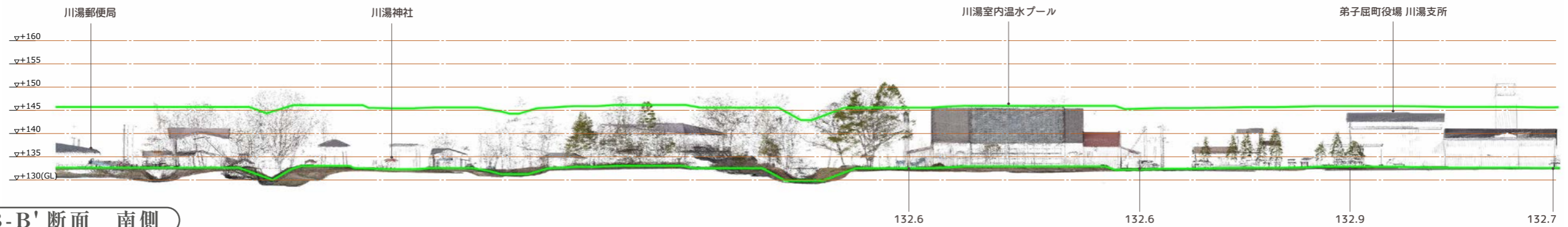
B-B' 断面 _ 南側



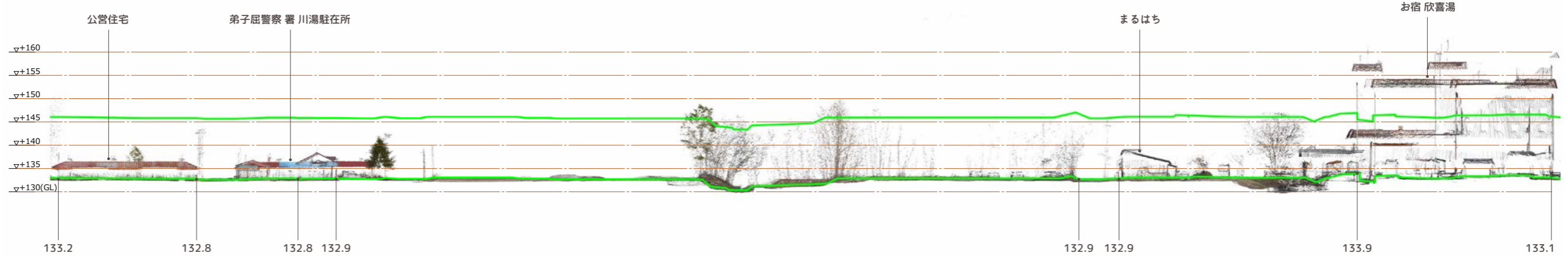
— 高さ 13m ライン



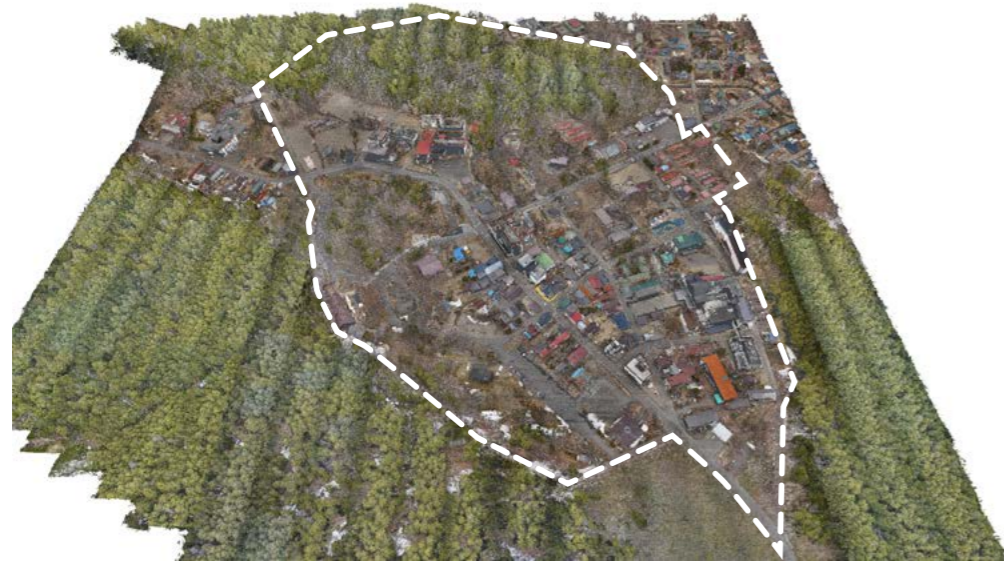
A-A' 断面 _ 北側



B-B' 断面 _ 南側

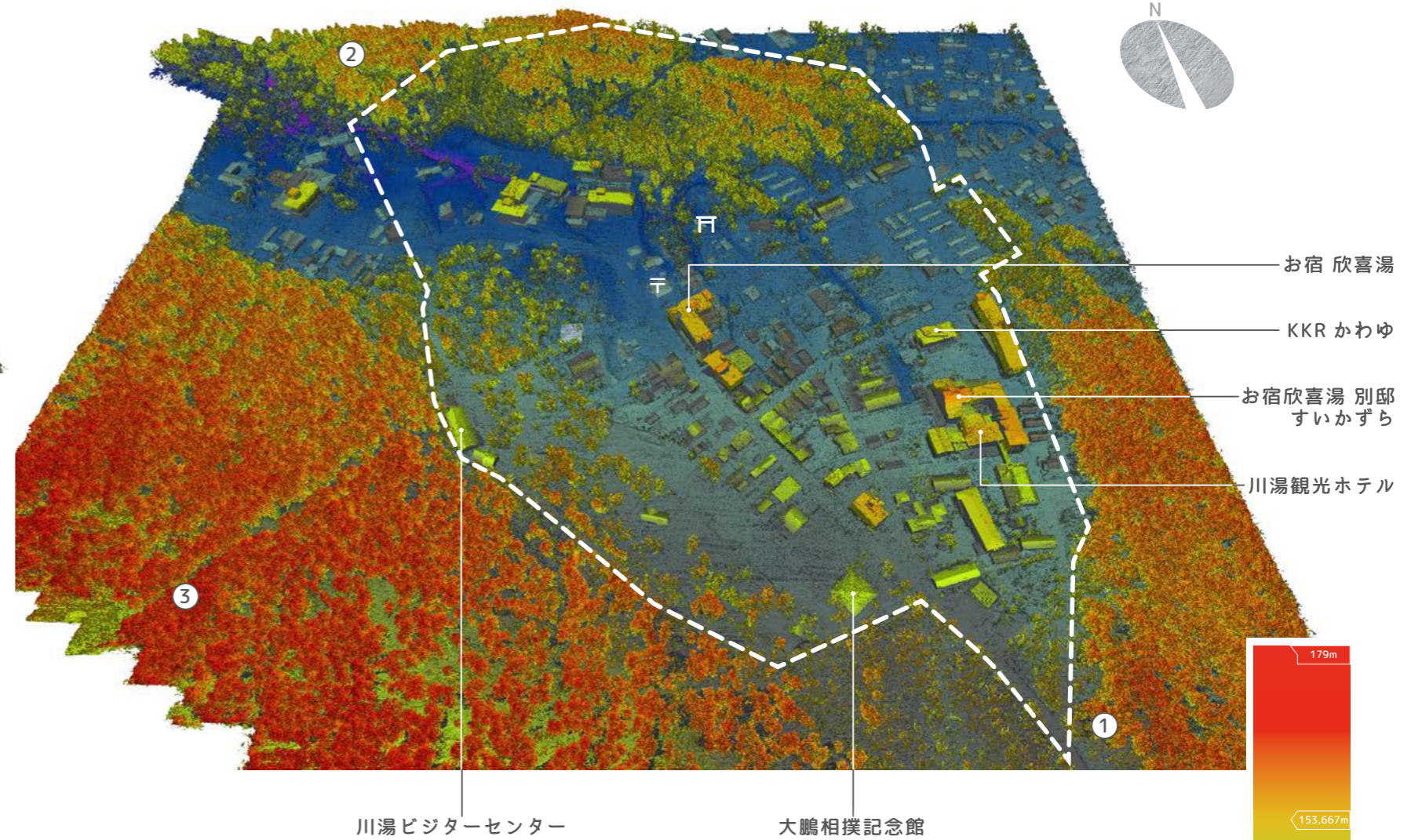


— 高さ 13m ライン



3次元測量(現況 RGB.2023.4月上旬)

雪解け直後の測量の為、落葉樹と常緑樹の判別が可能。
現状ではエリア中心部は落葉樹が中心で冬期は自然の緑が少ない。
今後、潜在自然植生の松類を街中にも、建築設備の目隠しや視線誘導などで機能的に用いることを増やすことを検討する。



3次元測量(標高による色分け)

計画エリアは、大きく北側への傾斜地となっている。①②の高低差、約 10.5 m、エリア外南西側はポンポン山の裾野となる為、標高が上がっている。③のアカエゾマツの森は約 22 m ~25m の針葉樹による森となっている。

今後、サワンチサップ (帽子山)・アトサスプリ (硫黄山) をエリアのシンボルの借景として利用する為、地対高の高さ規制に加え、標高による高さ規制の有用性についても検討していく。